

メタバースに士業事務所の「支店」が出現！【LEADERS DIGESTにて】

FIVE STAR MAGAZINE

士業専門誌

2022.11 71

年間購読/年間6冊・30,000円(税別・送料込)
発行/LIFE & MAGAZINE 株式会社
◎本誌は以下の事務所にお届けしています
税理士、司法書士、弁護士、行政書士、社会保険労務士
など(購読者の多い順)

NOTHING IS

impossible

特集

注目事務所たちの

特別企画

続

クジラ

マーケットと

雨ざらし

マーケットを

探せ!!



「**新展開**」

士業事務所のための経営専門誌

The Magazine for Professional Firms

法律事務所＋社労士法人で、 何が変わるのか!?



2019年1月に、弁護士法人Authense法律事務所のグループ内に、社会保険労務士法人が設立された。代表は、Authense法律事務所で15年以上、管理部門とHR領域を統括してきた桐生由紀氏。Authense法律事務所代表の元榮太一郎氏の「現場復帰」によって、新たな局面に入ったAuthenseグループ。その中で、Authense社会保険労務士法人が目指すところはどこなのか？ 桐生氏に話を聞いた。（文・武田司）

3つの強みを持った 社労士法人が誕生

—社労士法人を開設するまでの、経緯を教えてください。

私はAuthense法律事務所では管理部門に従事し、その後人事に専門化したキャリアを歩んできました。そうした中で、法律事務所のクライアントの中には、労務ト

ラブルを起こす会社も出てきます。そうした際に、所内の弁護士から相談を受ける機会が多くなりました。

ただ、資格がないと直接お客様のご相談に対応することができませんので、社労士資格を取り、2019年1月に社労士法人を設立しました。

—社労士法人の業務内容を教えてください。

専門とする領域は、顧問先企業向けの人事労務のアドバイザリーサービスです。手続きや給与計算もメニューとしてはありますが、手続代行業務より、人事労務面のコンサルティングやアドバイスのほか、就業規則の整備やIPO時の労務DDなどが多くなっています。

コンサルティング業務で強みと

しているのは、女性活躍コンサルティングです。私のバックグラウンドには人事労務部門で15年以上、仕事をしてきたキャリアがありますので、その経験を活かしたコンサルティングを行っています。

—コンサルティングに専門特化して、開業するという考えはありませんでしたか？

その方がいいのかもしれませんが、やはりスタートアップなどの小規模のお客様で、手続きや給与計算をサポートしてほしいというお客様もいらっしゃいます。今後は分かりませんが、当面は手続きや給与計算もサポートできるようにしていきたいと思っています。

—これからの展望を教えてください。

スタートアップ、ベンチャー企業の組織作りの支援やIPO時の労務DDなどは、弊グループでは弁護士ドットコム株式会社での経験があり、強みを持っているため、これからさらに広げていきたい分野です。

それから、最近はや若いベン

チャー企業で一定の組織ができてきたときに、役員が全て男性で、女性をどのように活用していけばいいのかわからないといったご相談を多くいただきます。この領域は私のバックグラウンドを活かすことができますので、こちらも広げていきたいと思っています。

そのほかに、グループに法律事務所があるという強みを活かせるのは労働系の業務です。労働系の業務は、予防するのが社労士で紛争案件になれば弁護士と一緒に対応するという切り分けになっています。労務に興味を持つ弁護士がいれば、その弁護士に社労士登録してもらうことなどもできますと思います。

—弁護士ドットコム、桐生先生、Authense法律事務所。それぞれの強みを活かせる分野・領域があるわけですね。

はい。人事をやり尽くして、社労士になった人はそれほど多くないと思います。私は、Authense法律事務所の創業期から弁護士ドットコムの上場準備が始まる前

までは管理部門全体を統括し、その後は人事をメインに仕事をしてきました。経理や財務面の経験、知識もあり、その上で社労士として手続きや給与計算の仕組みを理解し、それらをベースにしたコンサルティングを行うことができます。

それから私は、元榮と15年一緒に仕事をしていますので、組織の成長段階のその時々で、経営者がどのような想いを持っていて、どんな悩みを抱えているかも知っています。

組織としても、どの段階、どのフェーズで、どのような人材が必要になるのかなども分かっています。始めからガチガチに組織を固めておけば良いということでは、必ずしもなかったりします。そうした成長段階に応じた、さじ加減も分かります。

そうしたところも強みになると思いますので、それらを活かしてこれから事務所を成長させていきたいと思っています。■

次号より、連載開始！！
弁護士ドットコムとのコラボ企画

復刻

月刊 弁護士ドットコム

が本誌でスタートします！ お楽しみに！

